

# 1. 検定結果の推移

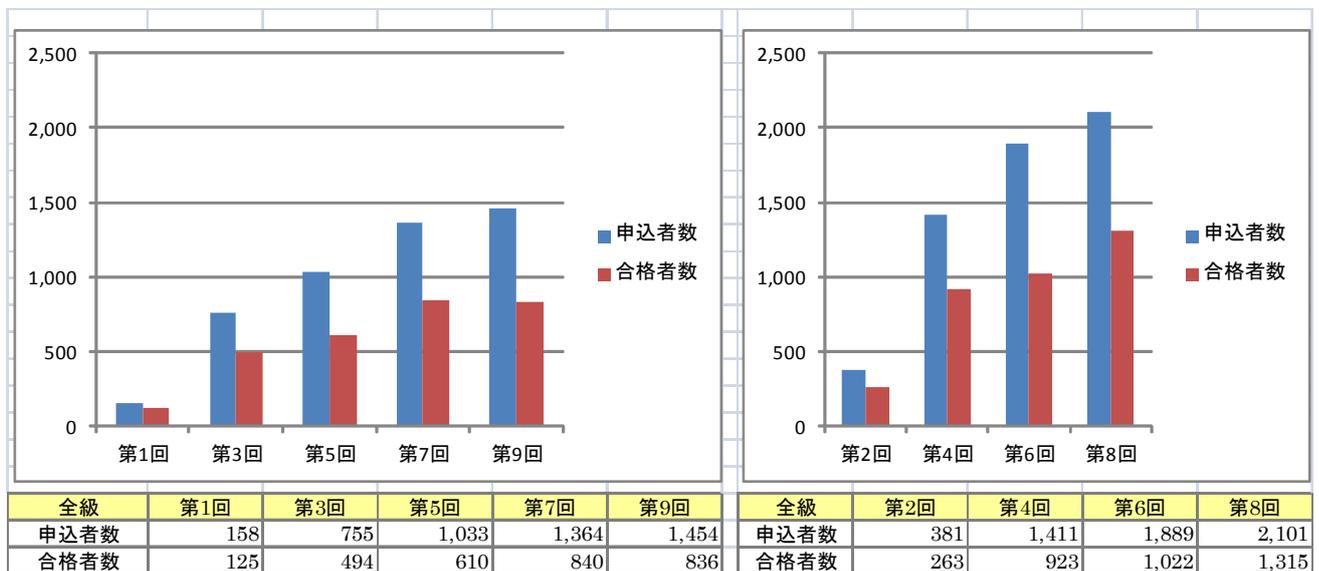
ご存知のとおり、生産マイスター検定は2012年から7月（夏）と1月（冬）の毎年2回実施しており、本年で5年目、今回で第9回目をむかえました。7月と1月では毎回1月のほうが検定申込者数が多く、今回も同じ傾向であることには変わりはありませんが、前年の7月の第7回の申込者数1,364人に比べると、第9回の申込者数は1,454人（106.6%）と着々と増加しています。

なお、これまでの申込者数の累計は今回で大台の1万人を突破し、10,546人となりました。同様に、合格者数の累計も6,428人となり、多くの生産マイスター合格者が誕生して活躍の場を広げています。

●7月検定の申込者数・合格者数<未認定者含む>

●1月検定の申込者数・合格者数<未認定者含む>

<第1回は1級と2級未実施>



つぎに、これまでの全級平均の合格率を見ると、下表のとおり徐々に厳しくなっていることがわかります。しかし、他の資格試験や検定も同様であり、最初は易しく、回数を経るごとに難易度が上がり、やがてある一定のラインで落ち着く傾向にあるのが普通です。

●全級平均の合格率<第1回は1級と2級未実施>

